

静岡薬創立 100周年

静岡県立大学薬学部は、1916（大正5）年に創設された静岡女子薬学校に始まり、静岡女子薬学専門学校、静岡薬学専門学校、静岡薬科大学と校名を変え現在の静岡県立大学薬学部となり2016年で創立100年を迎えます。



静岡100周年記念行事

記念講演会
シンポジウム

平成28年

7月16日 土

会場

静岡県立大学大講堂

記念式典
祝賀会

平成28年

7月17日 日

会場

ホテルセンチュリー静岡

一般の方々のご参加も歓迎致しますのでお問い合わせでご参加ください。



Memorial Lecture

記 | 念 | 講 | 演 | 会

講演者 紹介



本庶 佑 (ほんじょ たすく)

HONJO TASUKU

略 歴

1942年生。医学博士。京大医学研究科博士課程終了後、米国のカーネギー研究所、NIHで客員研究員。1974年帰国、東大医学部助手、阪大医学部教授等を経て、1984年京大医学部教授。以降、京大遺伝子実験施設長、京大医学研究科長、医学部長に就任。2005年退官後に京大医学研究科客員教授。現在、静岡県公立大学法人理事長。その他、高等教育局科学官、日本学術振興会学術研究センター所長、内閣府総合科学技術会議議員を歴任。日本学士院会員。2000年度文化功労者。2013年文化勲章受章。2014年唐獎など、多数受賞。

本庶先生の抗体を用いた「がん免疫療法」は、米国科学雑誌「Science」が選ぶ2013年の「Breakthrough of the Year」に選ばれました。また、ヒト型PD-1抗体のニボルマブは2014年7月、「オプジーボ」として、PD-1を標的とするメラノーマの治療薬として世界に先駆けて日本で承認され、12月には米国、2015年6月には欧州でも承認されています。

現在(2015年7月)適応拡大に向け、日本、韓国、台湾、欧米にて、非小細胞肺がん、腎細胞がん、頭頸部がん、胃がん、膠芽腫の第Ⅲ相試験(*)が行われています。

(*)：臨床開発は、日本、韓国、台湾では小野薬品工業株式会社とプリストル・マイヤーズ スクイブ社の共同開発にて、欧米はプリストル・マイヤーズ スクイブ社により進められています。